

バイオマス取組事例概要

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 バイオマス活用協議会会長賞)

近畿

- ・応募主体 株式会社レポインターナショナル
- ・都道府県・市町村 京都府京都市
- ・取組分野 BDF等燃料

取組概要

NPO団体、企業、自治体、研究機関と協力し、家庭や事業所から排出される廃食用油の回収・BDF燃料化及びBDF燃料の普及に取り組む。

軽油混合を必要とせず100%使用ができるバイオディーゼル燃料「C-FUEL」を開発。

市民・NPO団体・自治体と協働し、家庭廃食用油の回収・BDF燃料化システムを構築。京都市が実施しているBDF事業では家庭から排出される廃食用油を中心に資源回収(1,526,000ℓ/年)がなされており、BDF燃料化され(1,373,400ℓ/年)利活用されている。本事業では技術開発協力、一般家庭からの廃食用油の回収仕組みづくり、収集業務の実施、BDF燃料化施設から各燃料給油施設への燃料運搬業務の実施等により貢献。

また、近畿・関東・中部地区の飲食店等(約10000事業所)を対象に廃食用油の資源回収が行われており、そこから(217,000ℓ/年)事業者の車輛、農業機械、自治体車輛等へのBDF燃料として(195,000ℓ/年)を供給。企業間での取り組みの体制を整備。

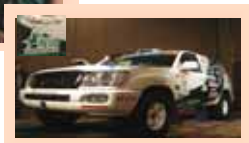
地域におけるBDF普及のための地域説明会の開催、小学校総合学習での授業参加、産学連携で取り組まれるBDF燃料による「アジアクロスカントリーのラリー」への参戦事業において、燃料部門を担当するなど、一般へのBDF燃料の普及活動も実施。

また、2007年1月に開催される、「ダカールラリー2007」に参戦が決定。

[啓発活動]



アジアクロスカントリーラリー & パリダカールラリーへの挑戦



大阪産業大学、大阪トヨタ、片山企画、レポインターナショナルが3ヵ年プロジェクトで挑戦していきます。



タイ国エネルギー省視察訪問



各小学校での講演会